

SPEEDBOX-70

FLASH WAVE-III RX-2 (Receiver)

スピードボックス70スチールロッド／RX-2受信器 兼用取扱説明書

※ ラジオシンクロRX-2受信器および、コメットRS-発信器は別売品です

⚠️ スピードボックス70スチールロッドの使用上の注意とお願い

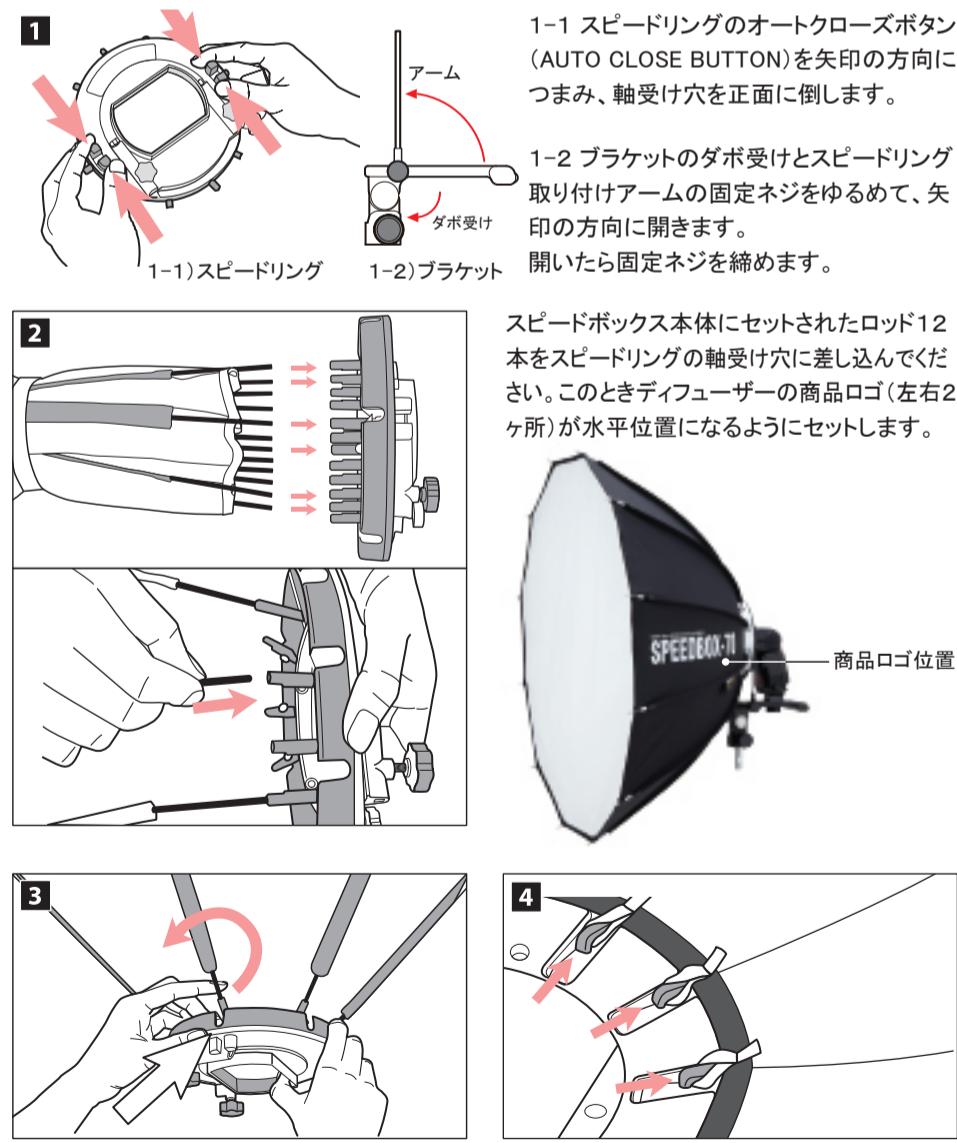
- 温度が80°Cを超えるような高温の光源は絶対に使用しないでください。
- ご使用の前に、スピードボックス本体に中間ディフューザーのサスペンションバンドのスナップボタンが確実に固定されているか確認してください。
- 中間ディフューザーがスピードライトの発光面に接触しないように確認して取り付けてください。
- サスペンションバンドにたるみのあるものは、いかなる状況でも使用しないでください。
- 本品が破損したり、生地が劣化した状態（黄ばみ・たるみ）で使用しないでください。
火傷や発火、火災の恐れがあります。
- 振発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。
爆発、火災、火傷の恐れがあります。
- 高所から落としたり、衝撃を加えないでください。
製品の変形、破損する原因となります。

セット内容

- | | |
|--------------------|------------------|
| ■スピードボックス本体（ロッド付き） | ■中間ディフューザー |
| ■スピードリング | ■前面ディフューザー |
| ■ブラケット（マウントシュー付き） | ■収納バッグ（ショルダーベルト） |
| ■C-PLUSダブルダボ | ■取扱説明書（本書） |

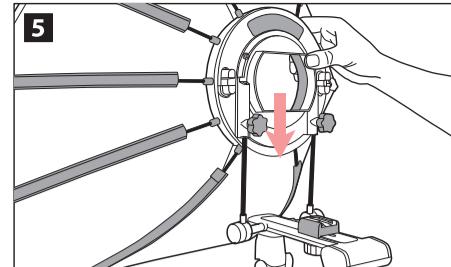
品名	寸法(cm)	重量(g)	発光面の形
SPEEDBOX-70 スチールロッド	69(W)×69(H)×35(D)	930	12角形

スピードボックス70スチールロッドの組立方法

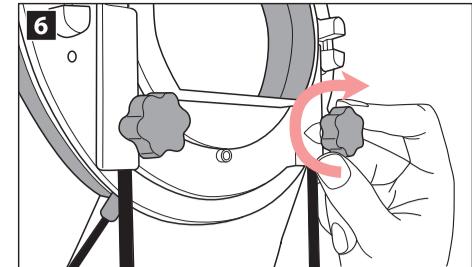


ロッドをスピードリングの切り込みに向かって引き下げて固定してください。

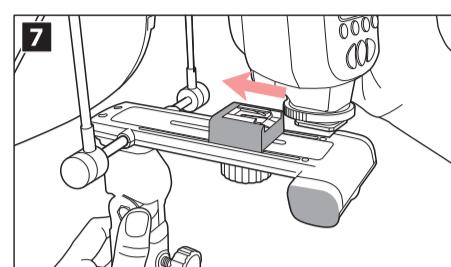
スピードボックス本体のゴムリング(12本)をスピードリング上のフック部に掛けてください。隙間から光が漏れないように、全てのゴムリングをかけてください。



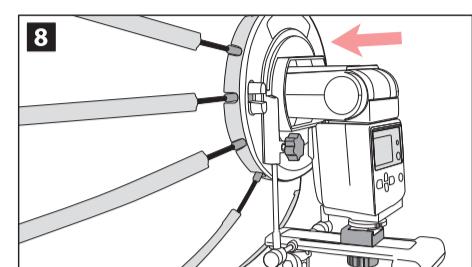
スピードリングの開口部の中心に来るよう、スピードライトの位置を調整してブラケット固定ネジと、マウントシュー下部のネジを締めます。



スピードボックスを、三脚またはライトスタンド上に固定してから、マウントシューにお手持ちのスピードライトを取り付けます。

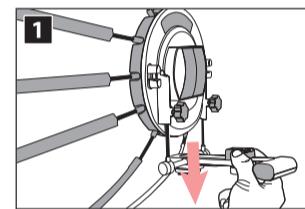


スピードボックスを、三脚またはライトスタンド上に固定してから、マウントシューにお手持ちのスピードライトを取り付けます。

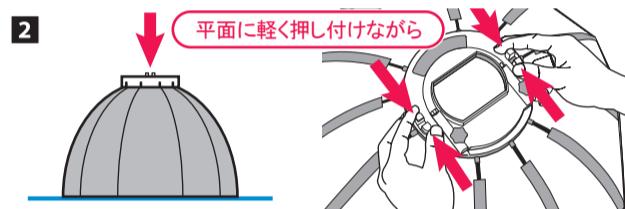


スピードボックス本体のたたみ方

スピードボックス本体は下記の手順でたたんでください。



スピードライトを外してください。
その後、ブラケットを外して下さい。



2-1 清潔な床やテーブル（平面）の上に置きます。
2-2 平面上に軽く押し付けながら、オートクローズボタンを左右同時に強くつまむと、スプリング機構が働き、スピードボックスがたたまれます。※平面への押し付けがないと均一に閉じません

RX-2受信器の使用方法

スピードボックス70スチールロッドのマウントシューをRX-2受信器（別売品）に交換することで、コメットRS-発信器（別売品）からスピードライトを同調発光させることが出来ます。



1. スピードライトとRX-2受信器の電源をOFFにしてください。
 2. コメットRS-発信器とRX-2受信器を同じチャンネルにしてください。
チャンネルの調整方法は、コメットRS-発信器付属の取扱説明書をご覧ください。
 3. スピードボックス70用ブラケットにRX-2受信器を取り付けてください。
 4. スピードライトをRX-2受信器のホットシューに取り付けてください。
 5. スピードボックス70用ブラケットの電池ホルダーに単3乾電池（別売品）を1本入れてください。
電池ホルダーに電池を入れると電池の向きを極性表示にあわせてください。
 6. スピードライトとRX-2受信器の電源を入れてください。
コメットRS-発信器を使用した同調テストをされるようお勧めします。
 7. RX-2受信器の電源をONにすると、パイロットランプが赤く点滅します。
コメットRS-発信器からの信号を受信するとパイロットランプがオレンジ色に点灯します。
- ※本機に接続中のスピードライトはオートパワーオフ機能がはたらきません。
電池を消耗しますので、使用しないときはスピードライトとRX-2受信器の電源をOFFにしてください。
- ※コメットRS-発信器の使用方法につきましては、RS-発信器付属の取扱説明書をご覧ください。
- ※長期間使用しないときは、電池を電池ホルダーから取り出してください。
- ※RX-2受信器の代わりにコメットRS-受信器（別売品）を使用することが出来ます。
この場合、ブラケットの電池ホルダーに電池を入れる必要はありません。

COMET
RS-Receiver
Radio Synchro System



製造元：韓国SMDV社 韓国製

発売元：コメット株式会社 〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1
tel (03)5916-5786 fax (03)5916-5872 https://www.comet-net.co.jp
e-Mail : mail@comet-net.co.jp